

事業所名 自立訓練事業所 放課後ハウス TERAKOYA

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日 令和7年 1月 15日

法人（事業所）理念		子どもたちが今持っている能力を最大限伸ばす											
支援方針		学習支援と活動をメインにしており、学習支援ではそれぞれに合った指導を行いながら宿題のサポートを行い、活動ではリサイクル、音読学習等様々な活動を行っています。規律を重んじ、より社会に近い生活を送りながら礼儀やマナーを身に付け、社会に出た時に困らないような療育を行います。											
営業時間		平日 土・祝・長期休暇	13 9	時	0	分から	17 16	時	0 0	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態を把握します。 挨拶を大切にします。社会に出たときに困らないように、規律を重んじた教育を行います。 基本的な生活スキルの獲得のために身の回りのことを自分でできるようにします。 											
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 日常動作での姿勢や身体や手先の使い方の向上を促します。 鬼ごっこやボール遊びなどを通して筋力や手の感覚を鍛えます。 											
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> スケジュール表や視覚支援を活用して指示や活動内容がわかり、自主的な行動を促します。 集団生活を通して時間や数等の概念形成を促し、適切な認知、行動の習得を支援します。 											
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 集団活動等の機会を通して言語や非言語のコミュニケーションにより、相手の意図を理解することや自分の考えを伝えられるように支援します。 活動中の意図的な声掛け等により、ご利用児童ひとりひとりの発達状況や興味・関心に合わせ、言語・表情や身振りなどを用いて意思を伝えることを促進できるよう支援します。 											
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> SST（ソーシャルスキルトレーニング）を通して多様な他者とのかかわりの機会及び環境を提供することで人間関係の形成及び社会性の促進を促します。 ご利用児童ひとりひとりの関心や理解度に合わせた活動の提供により、集団に参加する楽しみや手順を徐々に理解できるよう支援します。 											
家族支援		ご利用児童を支える保護者・家族のレスパイト、就労確保の預りニーズに対応し、必要に応じて延長支援を実施する。児童の発達状況を相互に理解し合えるよう定期的に情報交換を実施する。						移行支援		学童保育を併用している場合の連絡調整を行い、必要に応じて移行支援する。希望の進路先を見据えた本人・保護者等との相談援助を実施する。			
地域支援・地域連携		ご利用児童がスムーズな生活を送れるよう、通学先の学校の先生、併用している他の支援事業所担当者との連絡調整や連携を実施する。						職員の質の向上		年間研修計画に基づき、計画的かつ定期的に全職員および職層別の研修を実施する。			
主な行事等		外食体験（毎月）、外出活動（毎月）、避難訓練（年2回）、遠足（4月）、ハロウィン（10月）、秋祭り（11月）、クリスマス会（12月）、餅つき（12月）、初詣、凧揚げ（1月） 節分（2月）、お花見（3～4月）											